

なんだかあったかーいね このまち

No.131

つちうら だより

社協

だ

より

2011.6.15

ふれあいネットワーク

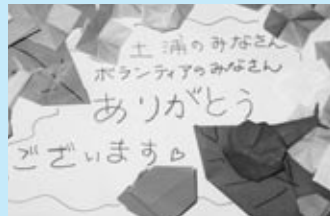


頼孝

▲絵画協力：太田頼孝さん

水郷体育館避難所におけるボランティア活動等のお礼について

去る3月11日に発生した東日本大震災にともない、本市では福島県等から避難された方々を霞ヶ浦総合公園内体育館で受入しました。避難所が閉鎖に至るまでの間、ボランティア活動をしていただきました皆さまに心から感謝を申し上げます。また、多くの皆さまからの救援物資の提供や温かい励ましの言葉をいただき誠にありがとうございました。心から厚くお礼申し上げます。



おもな内容

- 平成22年度事業報告
- 平成22年度一般会計資金収支計算書
- 障害児（者）育成会からのお知らせ
- 児童文庫購入費用助成金のご案内
- 愛の定期便事業のご案内
- 入れ歯リサイクル運動からのお知らせ
- ペットボトルキャップのお知らせ
- 地域福祉係から参加者・受講者募集
- いきがい対策係から受講者募集
- ボランティアサークルだより
- 善意銀行からのお知らせ
- 社会福祉協議会会員募集
- 登録ヘルパー募集
- まごころコーナー

平成22年度事業報告

地域福祉活動の推進と充実のために各種事業を展開してまいりました。
 主な事業を次のとおり報告いたします。

◆生きがい健康づくり

高齢者スポーツ大会などのスポーツ部門をはじめ、芸能部門、趣味部門などにおいて、多様な事業を展開し、高齢者の生きがいづくりと健康の増進を図りました。



高齢者スポーツ大会

◆趣味づくり

新しい趣味を通しての健康づくり、仲間づくりを目的とした、健康スポーツ吹矢教室、健康マージャン教室、はじめての野菜づくり教室はじめての編みもの教室、健康ボウリング教室を実施しました。

◆高齢者福祉講座・長寿大学

文化・健康・環境等の幅広い知識を修得し、健康で豊かな生活が送れるよう、その助長に努めました。

◆友愛サービス

人と人が助け合う笑顔あふれるまちづくりを目指して、『市民どうしの助け合い』による家事援助（食事のしたく・洗濯・掃除・買い物）等のサービスを提供しました。利用会員の皆さんには、ボランティアの協力会員との心の交流や活動に大変好評を得ました。

◆おもちゃライブラリー

障害のあるお子さんとその保護者同士のふれあいの場として、おもちゃライブラリー事業を実施しました。ボランティアによる手作りのおもちゃを通して、子どもたちの発達を促進し、また、子育ての情報交換の場を提供しました。



おもちゃライブラリー

◆ファミリーサポートセンター

保育施設への送迎や学童保育終了後の保育、産前産後の家事援助など市民同士が助け合うボランティア活動により子育てを支援しました。

◆地域介護ヘルパー養成講座

市内在住中学生以上の方を対象に、高齢者や障害のある方についての理解を深め、介護や福祉ボランティア活動など、福祉活動への参画のきっかけづくりや家庭介護力の増強と生きがいのある社会づくりを進めることを目的として開催しました。



地域介護ヘルパー養成講座

◆青少年ワークショップ

市内在住・在学の高校生、大学生、専門学校生を対象に、保育所や福祉施設でのボランティア体験活動をとおり、福祉に対する理解を深めるとともに、思いやりの心をもった豊かな人間性の育成を目的に開催しました。

◆ふれあい・いきいきサロン

住み慣れた地域での仲間づくりや世代間の交流をとおり、地域の

方々の健康維持や生活意欲の向上などを目的とし、各町内でサロン活動が行われました。



ふれあい・いきいきサロン

◆ボランティアセンター

地域のボランティア活動を推進するため、ボランティア活動に関する様々な相談や調整を行い、点字点訳・音訳・傾聴・手話・要約筆記・ガイドボランティアなど、地域を支える各種ボランティアの養成講座を開催しました。

◆災害ボランティアセンター設置訓練

土浦市地域防災計画に基づき、災害時にボランティアの受入窓口として設置する災害ボランティアセンターについて、職員相互の理解を深めるとともに、ワーキングチームによる訓練を実施しました。

◆障害児（者）交流キャンプ

障害のある方とその家族の相互交流を目的として、総勢146名の皆さんに参加をいただき、キャンプファイヤーを行うなど楽しく充実した時間を過ごしました。

◆福祉体験キャンプ

小学生（4年生以上）を対象に、人と人との助け合いをテーマに、一泊二日で福祉体験キャンプを行いました。体験キャンプを終了し、満足げに自宅へ向かう子どもたちの笑顔がとても印象的でした。

◆社会福祉協議会支部

市内8ヶ所の社協支部は、福祉活動を展開するうえで、地域の皆さんとの連携、さらには「ふれあい」を大切に、ひとり暮らし会食会をはじめ、研修会・児童福祉活動の支援・福祉の相談など、継続的に事業を展開しました。



宅配ボランティア合同研修

◆ふれあいネットワーク

支援を必要としている方を、地域の皆さんで支え合うための福祉ネットワーク作りを継続的に推進し、医師、民生委員児童委員、保健所、訪問看護ステーション、ボランティアなどの関係機関との連携により、地域ケア体制の拡充を図りました。

◆ひとり親家庭新入学児童お祝いの集い

土浦市母子寡婦福祉連絡協議会との共催で、小学校に入学するひとり親家庭の児童に、入学祝い品を贈呈しました。カエルの人形劇の鑑賞により、あいさつや、交通安全について楽しく学ぶことができました。

◆日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで、判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用申し込みや契約手続き、日常的なお金の出し入れ、預金通帳等の預かりなどを行い、日常生活を支援しました。

◆障害者自立支援センター

障害のある方が日中の活動の場として、創作活動をはじめ、身体機能の維持向上を図るために機能訓練（リハビリ）を行うなど、各種福祉サービスを提供し、自立生活が送れるよう支援しました。

◆地域包括支援センター

高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心して生活を続けていくため、介護が必要な状態にならないよう「介護予防サービス」のプランを作成するとともに、総合相談窓口として、様々な問題を解決するためのお手伝いをしました。また、要介護状態になっても、必要なサービスが提供され、充実したケア体制を作るための助言や、関係機関との調整を行うなど、介護予防の推進に努めました。

◆介護保険事業関係

介護保険サービスを利用される方を対象にケアマネジャーによる介護サービス計画の作成をはじめ、ホームヘルパーによる家事援助・身体介護の提供をしました。また、デイサービスにおいては、食事・入浴・レクリエーション・送迎等のサービスを提供するなど、高齢者や障害のある方の支援に努めました。

◆福祉施設等の管理運営・事業の実施

社会福祉センターをはじめ、老人福祉センター2施設の管理運営の外、ふれあいセンターながみねの管理運営及び水泳教室を開催し、健康増進に寄与しました。

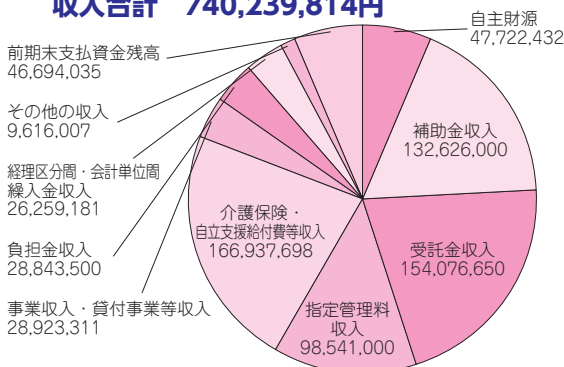


老人福祉センター「湖畔荘」

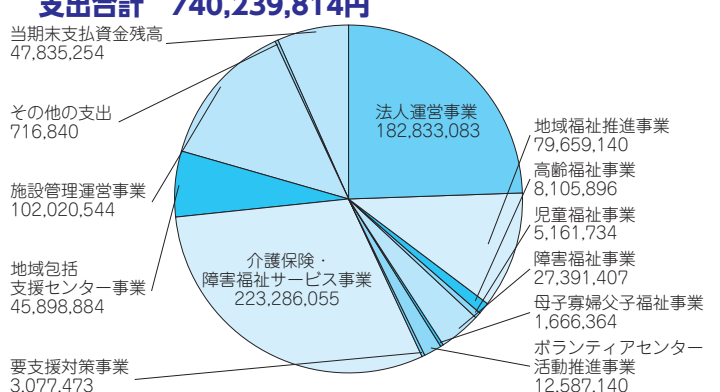


《平成22年度 一般会計資金収支計算書》

収入合計 740,239,814円



支出合計 740,239,814円



土浦市障害児（者）育成会は、 障害児福祉の推進のために福祉団体の活動支援や 次のような事業を支援しています。

対象団体

- ・土浦市肢体不自由児（者）父母の会
- ・土浦市手をつなぐ育成会
- ・土浦市重症心身障害児（者）を守る会
- ・土浦市自閉症児（者）親の会
- ・土浦市療育支援センターつくし親の会
- ・土浦市つくしの家父母の会
- ・土浦市教育研究会特別支援教育研究部
- ・障害児（者）交流キャンプ実行委員会
- ・障害児（者）を励ます新年の集い実行委員会
- ・土浦市視覚障害者福祉協会
- ・その他障害福祉活動をする団体



主な支援事業

教育研究会特別支援研究部

市内小中学校合同の校外学習など、日頃、一堂に会し活動することが少ない児童・生徒が、共に活動して交流を深めるための事業

障害児（者）交流キャンプ

障害児（者）が多くの仲間と夏の2日間を楽しく過ごすとともに、親が子の問題や日常生活の悩みを話し合いながら、相互交流の理解を深めるための事業

障害児（者）を励ます新年の集い

新たな年の輝かしい門出に当たり、障害児（者）とその家族が、一堂に会して交流を深め、社会の一員である自覚を持つとともに、一般の人々に障害児（者）に対する理解を深めていくための事業

各種団体の研修及びレクリエーション

障害児（者）団体相互の交流を図るための事業

土浦市障害児（者）育成会

障害児（者）団体等の活動を支援するとともに、広く市民の皆さまの理解を深め、障害児（者）及びその家族の福祉の推進を図ることを目的として、民生委員児童委員が自発的に支援活動を行う会として設立したものです。

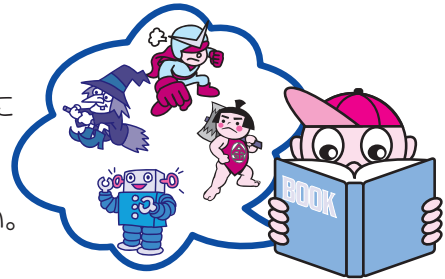
育成会の会員を募集しています。（一口1,000円から）
趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。
詳しくは、下記事務局までお問合せください。

問合せ先：土浦市障害児（者）育成会事務局（土浦市社会福祉協議会内） ☎821-5995

児童文庫購入費用助成金のご案内

子どもたちの育成のために、町内会で管理する集会所などに児童文庫を設置してみませんか？社会福祉協議会では児童文庫図書購入費の助成を行います。

- 募集数 3町内（募集数を超えた場合は、抽選となります）
※市内全町内が対象ですが、平成21年度、平成22年度に助成を受けた町内は対象外です。
- 交付額 1町内あたり3万円を限度とします。
- 申込方法 平成23年7月29日（金）までにお電話でお申しください。
- 問合せ先 社会福祉協議会 地域福祉係まで（☎821-5995）



愛の定期便事業のご案内

～乳製品を配布しながら安否を確認し、孤独感を解消します～

《ご利用いただける方》

65歳以上のお一人暮らしの方で、健康に不安のある方。

※ただし、以下の方は利用できません。

- ・訪問ヘルパーやデイサービス等の介護保険サービスを、週2回以上受けている方。
- ・市の配食サービスを利用している方。

■問合せ先

社会福祉協議会 いきがい対策係まで（☎821-5995）

- 週に2回、ご自宅にお届けします
- お元気にされているか確認します
- 乳製品飲料が選べます
- 費用はかかりません



ペットボトルキャップのお知らせ

世界の子どもたちにワクチンを贈る活動とゴミの減量につながる飲料用ペットボトルキャップの再資源化について、市内の皆さまよりお預かりしました「キャップ」が、次のとおりワクチンとして役立てられますので、お知らせいたします。

ご協力ありがとうございました。

■個数（約） **328,400個 [821kg]**

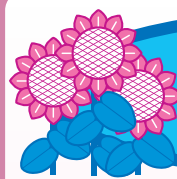
■ワクチン **410人分**

※上記個数は、平成22年12月21日から平成23年3月3日までにお預かりしたものです。

※キャップの累計 **1,409,600個**

■問合せ先

社会福祉協議会 地域福祉係まで
（☎821-5995）



入れ歯リサイクル運動にご協力いただき
ありがとうございました

不用となっている入れ歯のリサイクルにより生じた益金が、日本ユニセフ協会及び当協議会の善意銀行へ寄付され、地域福祉の向上を目的とする社会福祉事業に役立てられています。

平成22年4月1日から平成23年3月31日までにご協力いただきました不要入れ歯は、金51.2g、パラジウム13.1g、銀39.5g、プラチナ0.7gの合計215,742円を日本ユニセフ協会及び当協議会にご寄付いただきました。

今後も皆様のご協力をお願いいたします。



地域福祉係から 参加者・受講者募集

ひとり親家庭「親子ふれあいの集い」日帰りバス旅行参加者募集

～夏休みの一日を親子で楽しく過ごしましょう！～

- と き 平成23年7月30日(土)
9:00出発 16:00帰着予定
- と ころ ポティロンの森(稲敷市)
- 内 容 パンとバター作り体験と自由散策
- 対 象 市内に居住するひとり親家庭の親子(中学生まで)
- 定 員 30組(先着順)
- 参加費 中学生以上1,000円
小学生以下500円(3歳未満無料)
- 申込方法 電話でお申込みください。
- 申込期間 6月22日(水)から7月6日(水)
- 問合せ先 社会福祉協議会 地域福祉係まで
(☎821-5995)

青少年ワークショップ(青少年福祉体験)参加者募集

誰もがもっているいたわりの気持ちを、ごくあたりまえに、ごく自然な行動に移すことが大切です。今年の夏は青少年ワークショップに参加して、施設での活動を体験してみませんか！

- 対 象 市内に居住または通学する
高校生・大学生・専門学校生
- と き 事前研修 平成23年7月24日(日)
ワークショップ 平成23年8月4日(木)・5日(金)
- 定 員 30人
- 参加費 無料(昼食実費負担あり)
- 申込方法 電話でお申込みください。
※申込みの際、住所・氏名・年齢・電話番号・学校名(学年)・希望コース名(第2希望まで)をお知らせください。
- 活動場所 次の4コースからお選びください。

A：保育所でのボランティア活動
B：療育支援センターでのボランティア活動
C：デイサービスセンターうららでのボランティア活動
D：障害者自立支援センターでのボランティア活動
※ただし、希望した活動コースと実際の活動コースが変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 申込締切 7月12日(火)
- 問合せ先 社会福祉協議会 地域福祉係まで
(☎821-5995)

福祉体験キャンプ参加者募集

～みんな集まれ!!!～

- と き 平成23年8月10日(水)から11日(木)
【1泊2日】
- と ころ 宿泊：茨城県立中央青年の家
(土浦市永井987)
- 内 容 児童の社会福祉に対する理解と関心を高め、思いやりとやさしさを培うために体験学習をします。
- 対 象 市内に居住する小学4年生から6年生まで
- 定 員 90人(定員を超えたときは抽選)
- 参加費 500円
- 申込方法 往復はがきに学校名・学年・性別・住所・児童および保護者の氏名(ふりがな)・電話番号を記入の上、お申込みください。
※はがき一枚につき申込みは一人のみ
- 申込締切 7月1日(金)【必着】
- 問合せ先 社会福祉協議会 地域福祉係まで
(☎821-5995)

傾聴ボランティア養成講座受講者募集

高齢者や障害者の方など援助を必要とする方に耳を傾け、共感と心のケアを行うボランティア養成講座です。この講座では、福祉施設等で活動していただく傾聴ボランティアに必要な「話しの聞き方」や「認知症の方への接し方」などについて学びます。

講座終了後は、希望により福祉施設等での傾聴ボランティア活動をご紹介します。

- と き 平成23年9月6日(火)から10月4日(火)
毎週火曜日 全5回
10:00から12:00
- と ころ 土浦市総合福祉会館4階 講義講習室
- 定 員 30人(先着順)
- 受講料 100円(テキスト代)
- 申込方法 電話でお申込みください。
- 申込期間 7月1日(金)から7月29日(金)
- 問合せ先 社会福祉協議会 地域福祉係まで
(☎821-5995)

いきがい対策係から 受講者募集

健康スポーツ吹矢教室

スポーツ吹矢を楽しみながら、腹式・胸式呼吸を行うことにより、高齢者の様々な健康的効果を図ります。

- と き 平成23年7月27日、8月3日、10日、17日、24日、31日、9月7日、21日、28日、10月7日の全10回 13:30から15:30
- と ころ 新治地区公民館
- 対 象 市内に居住するおおむね60歳以上の方
- 定 員 20人(定員を超えたときは抽選)
- 参 加 費 2,000円(マウスピース代等)

はじめての野菜づくり教室

シニア世代を対象に、秋・冬野菜の種まき、苗植え、収穫など行いながら、健康づくりと仲間づくりを推進します。

- と き 平成23年9月3日、17日、10月1日、15日、29日、11月5日、19日、12月3日、17日、平成24年1月14日の全10回 9:30から11:30
- と ころ 新治総合福祉センター
- 対 象 市内に居住するおおむね50歳以上の農作業未経験者
- 定 員 30人(定員を超えたときは抽選)
- 参 加 費 2,000円(材料費等)

ミニテニス教室

生涯スポーツとして誕生したミニテニスは、幅広い年齢層で楽しめることから、高齢者の健康づくりと仲間づくりに最適です。

- と き 平成23年9月1日から10月6日(毎週木曜日)の全6回 13:30から15:30
- と ころ 新治トレーニングセンター
- 対 象 市内に居住するおおむね50歳以上の方
- 定 員 20人(定員を超えたときは抽選)
- 参 加 費 1,000円(材料費等)

- 申込方法 往復はがきで『○○○○○教室』受講希望と明記し、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、お申込みください(連名での申込はできません)。
- 申込締切 7月8日(金)〔必着〕
- 問合せ先 社会福祉協議会 いきがい対策係まで (☎821-5995)

ボランティアサークルだより

手作り弁当の宅配活動

さくら会

さくら会は、4班のグループに分かれて、ひとり暮らしの高齢者世帯にお弁当を配達しています。作る人たちは高齢者の健康を考えた献立を作成したり、食品の切り方一つでも自分の歯でよく食べられるように工夫をしています。宅配で聞かれる言葉があります。「おいしかったよ」「いつも持ってきてくれてありがとう」と感謝されています。また、笑顔も美しいです。

お弁当を作りに行く日は、太陽がきらきら光って眩しい日のとき、雨風が強くて行くだけでも大変なときもありますが、待っている人の笑顔で頑張ることができるのです。

お弁当を作る人たち全員の心温かい優しさが、食事作りにつながっています。お弁当を運ぶ人たちも優しく、丁寧に接し、訪問しているのも幸せです。

お弁当を作る人も運ぶ人も全員が協力してボランティアに参加できるよう、健康に留意して活動していきたいです。

活動日時：毎月第2・4金曜日 9:00~13:00
活動場所：四中地区公民館

手作りのお弁当をお届けして17年

コスモスの会

コスモスの会は、平成4年に設立されたボランティア団体で、三中地区にお住まいの高齢者に、月2回手作りのお弁当をお届けしています。現在40名の会員があり、2班に分かれて活動しています。活動開始から17年も経過しますと、お弁当を受け取る方、会員も大分メンバーチェンジをしましたが、おいしく安心して召し上がっていただけるお弁当を作るという精神は、受け継がれてきました。季節ごとに献立を考え、旬の食材を使うよう心掛け、当然のことながら食中毒には十分気をつけております。毎回お弁当の出来ばえに自画自賛しておりますが、配達先で「いつもおいしいお弁当をありがとう」と言ってもらえると、コスモスの会の一員で良かったと思います。また、お弁当の上には、当番の方が絵やイラスト、頭の体操のクイズなど工夫をこらした上掛けをし、大変喜ばれています。

活動日時：毎月第1・3木曜日 9:00~13:30
活動場所：三中地区公民館

善意銀行

まごころコーナー

(敬称略)

〈金 銭〉平成23年3月5日～5月20日

名 称	金額 (円)
一中地区民生委員児童委員協議会	4,162円
土 浦 友 の 会	5,000円
株式会社ユハラ・土浦環ライオンズクラブ	1,000,000円
土浦地域労働者福祉協議会	70,000円
荒川沖小学校職員一同	120,000円
平成22年度 土浦小学校 卒業生	14,757円

ご協力ありがとうございました。

名 称	金額 (円)
坂 入 恒 子	6,310円
上 大 津 婦 人 会	3,493円
日本入れ歯リサイクル協会	86,297円
J A 土 浦 女 性 部	99,410円
土浦協同病院 看護師会	79,910円

〈物 品〉平成23年3月5日～5月20日

名 称
茨城県県南生涯学習センター
一中地区民生委員児童委員協議会
悠遊庵さんぽみち
都和中地区民生委員児童委員協議会
四中地区民生委員児童委員協議会
む つ み の 会

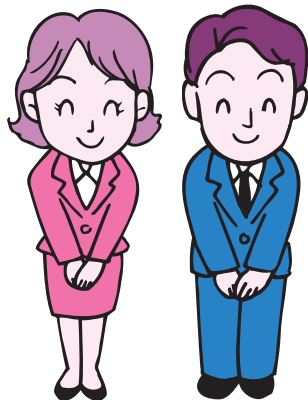
名 称
中村南三丁目 かけはし会
三中地区 公民館
プリマハム株式会社 茨城工場
永国東 社会学級
荒 木 佐 代 子
西根南二丁目 竹寿会

土浦市社会福祉協議会
会員募集

土浦市社会福祉協議会（略称…社協）は、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」に取り組むため、市民の皆様一人ひとりにご参加いただき、地域福祉活動の推進に努めております。

皆様にご協力いただき社協会費は、各地域の高齢者生きがい対策事業をはじめ福祉分野に理解を深めることを目的とする児童福祉体験講座など、福祉事業を展開するうえで、貴重な財源となっております。

今年度につきましても地域福祉活動の充実を図るため、趣旨ご理解のうえ社協会員（1世帯1口500円）としてご支援ご協力くださいますようお願いいたします。



善意銀行からのお知らせ

善意銀行活動は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めるため、市民の皆様からの温かいご芳志をお預かりし、福祉の援助を必要とされている方々や当協議会が推進する地域福祉事業のために有効に活用をさせていただいております。

平成22年度は、当協議会の下記の事業に活用をさせていただきました。

事 業 名	決 算 額
老人福祉活動事業	1,626,032円
障害者・児福祉活動事業	139,784円
児童・青少年福祉活動事業	375,931円
母子・父子福祉活動事業	183,148円
福祉育成・援助活動事業	331,896円
ボランティアセンター活動推進事業	1,840,485円
交通遺児等福祉基金事業	534,000円
その他（指定寄付）※	920,991円
合 計	5,952,267円

※指定寄付につきましては、預託者より指定された事業及び団体に払出しをさせていただきました。

お問合せ・お申込みは



土浦市社会福祉協議会

〒300-0036 土浦市大和町9-2

土浦市総合福祉会館内（ウララ2ビル4階）

TEL 029-821-5995(代) FAX 029-824-4118

E-mail info@doshakyo.or.jp

http://www.doshakyo.or.jp

登録ヘルパー募集

ホームヘルパー2級以上の資格を有し、かつ普通自動車免許をお持ちの方で、マイカーによるヘルパー活動のできる方を募集します。

●問合せ先

社会福祉協議会 訪問介護係(☎824-9444)

